

平成21年度 第3回理事会議事録

平成21年6月15日(月)19:00～22:00 於:県士会事務所

出席:上遠野純子,畑中一枝,平間聡子,久保田美代子,葛西康,鈴木ひろみ,大貫操,渡邊由香里,
半沢正道,山田広美,本多ふく代,道又顕,監事佐藤善久

欠席:(委任状あり)本地光弘,鈴木真紀,吉崎勝哉,監事高橋由美

審議事項

1) 新理事顔合わせ及び今後の理事会体制の確認

上遠野新会長の所信表明と,新理事15名,監事2名へ委嘱状が発行された。法人化に伴い,常任理事会は会長と副会長2名,各局長で組織されること,理事会は決議機関となるという役割が確認された。また,事務局より今後の連絡の流れ,事務所借用規程,各部員の登録状況について確認を願う旨の依頼があった。

2) 法人登記の為の法務局での行政指導結果報告

法人登記担当理事より,進捗状況が報告された。6月26日を登記予定日としている。総会后に公証人役場からの指導を受けている。理事の承認承諾書など修正が必要な書類を揃え次第,手続きが完了する。

3) 第12回県学会進捗状況について

葛西学会長より,進捗状況が報告された。ブロック活動推進の一翼を担う事業として,大崎・栗原ブロックの共同開催に向けた話し合いを重ねてきた。学会開催にむけてブロック全体での連絡徹底を図ることが停滞しており,6月初旬にやっと出席率の高い会議ができた状態である。

地方開催の意義についての理解も得られつつあるが,栗原ブロックは若い会員が多く現時点で,9月開催の学会運営組織としては力不足を感じる。ブロックでの審議の結果,現状での今年度内の学会開催は見送りたい。人材,組織作りに取り組み,機を改めて地方開催とできないだろうか,理事会で審議願いたいとの報告がなされた。

このことに対し,県学会開催と学会長選出は総会の決議でもある。また,今年度は更なる活動推進を謳い,法人化をする年でもある。地域で納得する組織を作りながら,学会を開催するという理念は理解できるが,総会の決議を覆すほどの理由と判断できるのか?という意見や,地域開催を“場所”と捕らえるのではなく,“組織”としてとらえて開催することはできないか?など議論された。議論の上,審議の結果,葛西氏を学会長とした学会開催の延期については理事会承認は得られなかった。

本日の理事会審議の結果をブロックに持ち帰り,協同開催となる大崎ブロック長らとも再度審議の上,学会への取り組みについてブロックの意向を早々に理事会へ回答されることとなった。

4) 特別支援教育に関する研修会に持ち込みの企画について

本多理事より,仙台市下の特別支援学校教員の研修に,講師の派遣要請があった。現段階では本多理事個人への依頼であるが,これを士会推薦の形にしてもらうことが可能であるので,士会推薦の形にしていきたい。また,今後も派遣要請が継続していくようであれば,士会の公益事業として位置づけられないだろうかという提案がされた。講師派遣を事業展開としていけるかどうかについては事業部と相談の上,理事会へ報告されることとなった。

5) 5/31 総会,法人設立記念式典・記念祝賀会 開催報告(事務局,福利部,財務部)

記念式典の参加者来賓16名,会員57名,新入会員15名であった。記念祝賀会の参加者は来賓16名,会員41名,新入会員2名であった。会計報告については,予算内での単一収支として決算次第,理事会で報告する。

6) 事務局より 要回答收受文書に対する報告,審議

- ・日本作業療法士協会：新たな全国研修会の開催方法と開催地アンケートについて
H22 年度に全国学会, H23 年度に東北学会と続けて大きな企画が予定されており, 現段階で開催可能な時期について回答をするのは難しいという内容で回答するということが承認された。
- ・宮城県リハビリテーション支援センター：8/8 みやぎ OT・PT・ST 合同説明会について（依頼）
作業療法士の職業紹介ブースを設置してほしいという依頼があった。公益活動を推進していくことを掲げる士会としては, 県の取り組みに積極的に協力していくことが必要ということが確認され, 参加者については広報部で調整されることとなった。
- ・宮城県保健福祉部：平成 21 年度文化の日表彰候補者について（依頼）
表彰該当者はなしとすることが承認された。

7) その他

- ・法人化担当久保田理事より

税務署から登記に伴う会計上の必要な届けについて説明を受けた。登記後すみやかに, 士会資産についての書類を提出したいと考えている。会費収入以外の収入については, 所得税を納める可能性もあるということなので, 各部局の会計処理方法について注意を願いたい。7 月には教育部主催の研修会も開催されるため, 処理の詳細は, 関係者へ連絡していく。また, 必要な所手続きが発生した場合も早々に連絡していきたい。

各部からの報告事項

教育部：7 月 1 2 日に, 現職者研修 4 テーマと, 臨床実習指導に関する研修を実施する。

学術部：学術誌「みやぎ作業療法 第 3 号」は, 現在最終査読段階である。査読終了後, 印刷, 会員への発送となるが, 7 月以降にずれ込む可能性がある。

事務局：次回 7 月の会員向け発送物は 6 月 2 6 日を締め切りとしている。

ボランティア保険加入のため, 各部員の情報集約について協力を願う。

広報部：7 月初旬を予定としていた, 第 1 0 6 号のニュースは原稿締め切りが 6 月 2 4 日, 7 月末に発行となる。

次回 第 1 回常任理事会 平成 2 1 年 7 月 3 週頃 県士会事務所 1 9 : 0 0 ~

第 4 回理事会 平成 2 1 年 1 0 月 3 週頃 県士会事務所 1 9 : 0 0 ~